令和４年度　事 業 報 告 書　.

法人の名称　　特定非営利活動法人　港北国際交流の会

１．事業の成果

令和４年度港北国際交流の会は、港北区からの横浜市港北国際交流ラウンジの委託事業の運営と、港北国際交流の会としての自主事業を実施しました。2015 年港北区からの委託業務開始以来 7 年経過し、その会員数は令和 4 年度末現在 236 名（休会中 19 名含む）となり組織的運営を行っています。

令和４年度も通期としては新型ウイルス感染拡大によりラウンジ全体の日常活動において影響を受けた 1 年間でしたが、ボランティアをはじめ、すべての利用者に感染対策に伴う利用制限、検温、消毒等多大なるご理解とご協力いただき改めて御礼申し上げます。
感染拡大も中頃よりある程度沈静化し、研修室の定員 100%など感染対策の緩和もあり、来館者もコロナ前とはまだ乖離がありますが増加傾向に転じています。中でも行事の大きな柱としての「ワクワクまつり」も従来に比べ多少縮小し、ケアプラザとの合同で 4 年ぶりにリアルで実施でき 564 名の来場者があり賑わいを呈しました。

「ワクワクまつり」に併せて「ボランティア 20 年・10 年永年活動表彰」を一同に会して記念式典を行い、漆原港北区長にもご臨席並びにご祝辞をいただき表彰式を行いました。20 年表彰者 4 名、10 年表彰者 7 名の計 11 名の方々が各部門で 20 年間並びに 10 年間の長期に亘り継続して活動していただきました。ここに改めて長年の献身的な貢献に敬意を表し、感謝申し上げます。

事業内容については、先ず数値指標状況は、先述のごとく昨年度に比べ全体的には増加したものの未だ 3 年前までには回復していません。
年度利用人数は 21,256 人（前年 17,161 人、124%、前々年 8,758 人、243%、3 年前 29,066 人、73%）でした。その内外国人利用者は 6,398 人（前年 4,507 人、142%、前々年 1,930 人、332%、3 年前 11,353 人、56%）。日本人利用者は 14,858 人（前年 12,654 人、117%、前々年 6,828 人、218%、3 年前 17,694 人、84%）でした。窓口での相談案件（来館及び電話等）は件数ベースで、外国人 318 件（前年 277 件、115%、前々年 170 件、187%）、日本人 546 件（前年 394 件、139%、前々年 416 件、131%）です。合計 864 件（前年 671 件 129%、前々年 586 件、147%）でした。

多言語相談窓口としては英語、中国語、ベトナム語、韓国語の 4 か国語で在住外国人の

方々の生活及びその他の相談への情報提供、支援を行い、それ以外の言語についてはYOKE「横浜市多文化共生総合相談センター」との提携により通訳相談対応しました。

市民通訳ボランティア（市ボラ）、語学ボランティア（語ボラ）通訳派遣は小学校、中学校、区役所など対面での通訳が多くなりました。市ボラは105件（前年89件、118%、前々年49件、214%、３年前191件、55%）の実績です。語ボラは43件（前年10件、430%、前々年18件、239%、3年前37件、116%）の実績です。

日本語教室は人数制限等の影響がありましたがクラス数は確保し、合計340日（前年326日）のクラスを開講し、延べ4,357人（前年3,201人、136%、前々年1,188人、367%）の外国人が参加。延べ4,714人（前年3,832人）のボランティアがコロナ禍、熱心に日本語学習支援を行っていただきました。
養成講座は最終的に17人の方が全5回受講修了され4月より活動する予定です。また有資格者も当期末現在 5 名が登録されてます。ボランティアに対する日本語ブラッシュアップ講座は4回実施し延べ125名が参加し日本語学習支援、指導向上を図っています。
開講して 10 年目となる日本語能力試験の受験対策専門講座（N1,N2,N3）は前期、後期開催し、受講者数47名（前年27名）で各24回合計144回開講しました。

「ニューカマー子どもの教室」では、漢字や計算等基礎学習の充実、高校受験対策強化、学校や保護者との連携等を重点目標として、21 人のボランティアが毎週土曜日に日本語を母語としない児童生徒21人に対して41回学習支援を行い、なかでも、中学3年生対象に高校受験対策を行いました。

地域住民を対象とした外国語教室は7講座（英会話3クラス、フランス語2クラス、イタリア語、スペイン語）＋夏休み小学生英会話教室2クラスを行い全授業回数241回、127人の方が受講しました。

ラウンジの一大イベントである「ワクワクまつり」は冒頭記述のごとく10月9日に台風による中止も含めて４年ぶりでのリアル開催となりました。またオンラインでのノウハウも活かし、YouTube での動画配信も行いました。「世界のファッションショー（動画撮影)」、日本語学習者による「日本語スピーチ、演奏、踊りに歌、似顔絵描き、お国紹介」など、ニューカマー子どもの教室生徒の「絵日記」、他「ミニ外国語教室」、「甲冑試着体験」などを実施し来場者も延560名を超え各方面から好評をいただきました。
「2022ふるさと港北ふれあいまつり」 はアフリカをテーマに「アフリカパズル」、「アフリカ民族衣装を着よう」、「国旗クイズ」、また外国人スタッフを中心に「中国語、ベトナム語クイズ」など実施し約470名のブース来場者がありました。

国際交流イベントとして 5 回実施。「世界のおしゃべりクッキングショー」、「アコーディオンコンサート」、「アロマキャンドルを作りませんか」、「新春落語会」、「ニューイヤーコンサート」を開催。毎回多くの方に参加をいただき、合計 218 名の参加がありました。日本の伝統文化を楽しむ華道、書道、茶道の教室は華道 3 回、茶道 3 回、書道 2 回、計 8 回実施し、延べ 55 名の参加がありました。

当ラウンジの外国人スタッフによる国際理解教室は近隣小学校への出張講座を 2 回、また、小学生向け国際理解教室をラウンジにて 1 回実施しました。
また、小学校中堅教職員 1 名のラウンジでの実践社会研修を受け入れました。

多文化共生について考え、実践する機会の提供という視点から、新たな取り組みとして大学並びに大学生の協力のもと外国ルーツの小中学生を対象にした「夏休み宿題教室」を開講。大学生ボランティア説明会では 22 人の参加があり、授業を 3 回実施。小中学生は 20 名の参加があり、双方から大変喜ばれました。

また大学との連携では、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科とのタイアップでオランダ、イタリア、ルワンダ、中国からの留学生を対象にし「ラウンジの課題と解決」をテーマに 4 か月間の授業に参画しました。

主に大人を対象とした国際理解イベントとしてボランティアを中心とした地域住民を対象に「港北ウクライナカフェ」を 2 回、ハローワールド「ウクライナの今を知りたい」を 1 回行い、ウクライナ避難民、在住者も含め延べ 106 名が参加されました。

「多文化ママカフェ」は、日本で子育てに奮闘している若い外国人のママたちが子どもを連れて気軽に集まり、日本語、英語、中国語等で悩みの相談や、時宜を得た話題等を提供したり交流を図ることを目的に開催し、計 21 回各平均 6 組の参加者がありました。

情報広報活動として、広報誌「そよ風」を年 5 回発行し最終は No.133 号です。日本語を学習する外国人やボランティアの方の活動を紹介し、地域の皆さまにラウンジの存在を PR するとともに、継続的により広くラウンジの活動を理解していただくことに努めております。
ホームページ、フェイスブックにはイベントのお知らせや実施状況などタイムリーな情報をスタッフが掲載し、ホームページでは日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語で対応しています。

ラウンジ運営や事業実施に於けるリモート化促進では、対面を基本としつつもコロナ対策としても現況を鑑み、リモート化推進の為の備品も、ワイヤレスマイクスピーカー、ス

ピーカーフォン、パソコンなどを追加実装しました。

リモート化は特に日本語クラスで活用され、9クラス中6クラスでリモート授業を実施、延べ484人の受講者があり延ボランティア数は397人にのぼりました。またニューカマー子どもの教室でも学習者数1名で合計3回されました。一部の外国語教室、会議などもハイブリッド型式で行われました。

ワクワクまつりではYouTubeでの動画配信をしました。また、窓口スタッフ人材育成は、オンライン実施のためのデジタル機器操作を中心にしたテーマで2回行いました。

この先まだ多面的な対応能力が必要となり、事業目的に合わせて臨機応変にハイブリッドでも対応できるよう引き続き有効的に実施していきたいと思います。

施設関係では研修室の照明を研修室1全数と研修室2の1部をLED化しました。

２．事業報告内容

各種事業の企画実施

(1) 情報提供相談窓口業務

（ア）行政機関等との連携を通じた情報収集・提供（窓口）（委託事業）

内　　容　：国際局・YOKE・市内国際交流団体などと連携し、防災関連・新型コロナウィルス感染予防対策・ウクライナ避難民支援活動、外国人児童生徒の進学等に関する情報収集・提供、
近隣区のNPO団体の国際交流ボランティアスキルアップ講座へ講師派遣。

日　　時　：随時

場　　所　：主たる事業所など

従事者人員：17人

受益対象者：港北区他在住外国人

（イ）多言語相談窓口　　（窓口）　　（委託事業）

内　　容　：在住外国人の方々の生活及びその他の相談への情報提供と支援。
日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語による窓口相談対応。
それ以外の言語についてはYOKE「横浜市多文化共生総合相談センター」との提携による通訳相談業務。

日　　時　：英語・日本語：毎日、　ベトナム語：火曜午前、
韓国語：木曜午前、　中国語：金曜午前

場　　所　：　主たる事業所

従事者人員：17人
受益対象者：港北区他在住外国人
支 出 額　：578,624円

（ウ）広報・情報誌発行事業　　（情報広報）　　（委託事業）
内　　容　：広報誌「そよ風」等の更なる充実を図るべく情報収集と共にラウンジの活動内容を広く市民および在住外国人に知って頂き、外国人、近隣住民などの利用促進につながるよう情報発信を行う。
また、在住外国人の生活に役に立つ情報を発信していく。
日　　時　：年5回広報誌の発行
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：9人
受益対象者：港北区他地域住民と在住外国人
支 出 額　：190,644円

（エ）　ホームページ作成事業　　（窓口）　　（委託事業）
内　　容　：ホームページ・Facebook作成等の事業、各種言語によるラウンジの活動紹介、情報提供　（日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語）
日　　時　：随時
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：8人
受益対象者：港北区他地域住民と在住外国人
支 出 額　：17,380円

(2) 人材の育成支援業務　　（委託事業）
（ア）窓口スタッフ人材育成　　（窓口）
内　　容　：相談案件対応力育成、デジタル人材育成
日　　時　：通年3回
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：21人
受益対象者：窓口スタッフ
支 出 額　：30,524円

（イ-1）市民通訳ボランティア派遣による通訳、翻訳他の事業（窓口）

語学ボランティア派遣：来日して間もない児童・生徒に対する学校での初期適応支援・学習支援ボランティアの派遣、その他。

内　　容　：市、区役所、保健所、学校などに通訳を派遣

対応言語　：英語，中国語、スペイン語、ネパール語、タイ語、韓国語、タガログ語、ロシア語、タイ語、ベトナム語、ポルトガル語 等

日　　時　：　随時

場　　所　：小中学校，区役所 など

従事者人員：17 人

受益対象者：港北区在住外国人

支 出 額　：168,141 円

（イ-2）日本語教育ボランティアの養成　　（日本語教室）

（イ-2-1）日本語ボランティア養成講座事業　　（日本語教室）

内　　容　：外国人への日本語学習支援・指導ができるように日本語教育ボランティアを養成する。

日　　時　：10 月～ 12 月　クラス、5 回、　修了者：１７名

場　　所　：主たる事業所

従事者人員：11 人

受益対象者：港北区民

委託事業支出額：158,835 円

教室運営収入額：93,500 円

（イ-2-2）日本語ブラッシュアップ講座事業　　（日本語教室）

内　　容　：外国人への日本語学習支援・指導向上の為の日本語教育ボランティア教育講座をおこなう。

日　　時　：通年 4 回

場　　所　：主たる事業所

従事者人員：11 人

受益対象者：日本語教室ボランティア

支 出 額　：220,885 円

（イ-2-3）永年活動表彰

内　　容　：年に一度「ワクワクまつり」開催時 20 年並びに 10 年継続して活動していただいたボランティアを表彰し記念品を授与

日　　時　：年 1 回、10 月 9 日（ 日 ）

場　　所　：主たる事業所
従事者人員：　9　人
受益対象者：港北区他住民
表彰対象者：20 周年　4 名　　10 周年　7 名
支 出 額　：32,839　円

(3)　各種事業の企画実施

ア　日本人多言語理解に関する事業

（ア）外国語教室事業講座企画運営（外国語）　　（委託・自主事業）

内　　容　：「スペイン語」、「フランス語」2 クラス、「イタリア語」
「ビジネス英会話」　＋　「夏休み小学生英会話教室」
講座数　　：全　5 講座 ＋　2 講座
学習者人数：　66　人　＋　26 名　＝　92 名
日　　時　：教室全授業回数　165 回　＋　10 回
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：6 人　（委託）
受益対象者：港北区民他
委託事業支出額：451,920 円
（企画運営）　　自主事業支出額：　1,570,912 円
教室運営収入額：　2,646,800 円

（イ）外国語教室事業おもてなし企画運営（外国語）（委託・自主事業）

内　　容　：「英会話初級」2 クラス
講　座　数：全　2　講座
学習者人数：　35　人、
日　　時　：教室全授業回数；　66 回
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：　6 人　（委託）
受益対象者：港北区民他
委託事業支出額：175,536 円
（企画運営）　　自主事業支出額：591,194 円
教室運営収入額：1,049,400 円

イ　多文化共生と国際相互理解に関する事業　　（委託事業）

（ア）外国人と日本人の交流事業　－機会の提供

（ア-1）スポーツ、音楽、食等の交流及び在住外国人による異文化紹介（交流企画）

内　　容　：交流イベント（ワークショップ、演奏会等他）

日　　時　：年 5 回、4/10, 6/19, 11/13, 1/8, 2/12

場　　所　：主たる事業所

従事者人員：15 人

受益対象者：港北区民他

支 出 額　：137,623 円

イベント運営収入額：27,200 円

（アー2）多文化ママカフェ　（国際理解）

内　　容　：子育て中の外国人親子の交流・情報提供の場

日　　時　：4 月～翌 3 月　年間計　21 回

参加者数　：平均 6 組

場　　所　：主たる事業所

従事者人員：5 人

受益対象者：港北区他在住外国人

支 出 額　：11,480 円

（イ）外国人と日本人対象の相互理解の機会の提供

（イ-1）スポーツ、音楽、食等の交流及び在住外国人による異文化紹介（交流企画）

内　　容　：日本伝統文化（華道、茶道、書道）を通じて国際交流を図る

華道教室 3 回/年間

茶道教室 3 回/年間

書道教室 2 回/年間

計 教室 8 回/年間

日　　時　：4 月，5 月，6 月，7 月，9 月，10 月，11 月，1 月

場　　所　：主たる事業所

従事者人員：5 人

受益対象者：港北区他在住外国人

支出額　：103,844 円

教室運営収入額：10,600 円

（イ-2）　異文化理解の機会（国際理解教室事業 ）　（国際理解）

（イ-2-1）小中学生対象の国際理解教室事業・

内　　容　：近隣小中学校への出張講座等~~数~~　2 回/年（師岡小・菊名小）

「小学生の国際理解教室」　3 月　参加 6 人

近隣小学校教職員の中堅職員研修受け入れ　7 月　参加教職員 1 名

日　　時　：年 4 回　　研修受け入れ　7 月、
小学校出張講座　12 月（2 回）、国際理解教室　3 月
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：　7 人
受益対象者：港北区民
支 出 額　：17,248 円
講師料収入：16,000 円

（イ-2-2）　主に大人を対象とした国際理解イベントの実施　（国際理解）
内　　容　：「港北ウクライナカフェ」　　4 月、5 月　　参加　66 人
ハローワールド「ウクライナの今を知りたい」12 月　参加 40 人
日　　時　：年　3　回
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：　5　人
受益対象者：港北区民と近隣在住の外国人
支 出 額　：　ウクライナカフェ 3,404 円 ＋ ハローワールド 17,608 円
＝ 合計 21,012 円

（イ-2-3）　多文化共生について考え実践する機会の提供　（国際理解）
内　　容　：「夏休み宿題教室」大学生ボランティア説明会　参加 22 人
「夏休み宿題教室」外国ルーツの小中学生　　参加 20 人

日　　時　：年　4　回　　大学生ボランティア説明会　7 月 31 日、
宿題教室　3 回（8 月　17，19，21 日）
場　　所　：主たる事業所
従事者人員：　7 人
受益対象者：横浜市在学の大学生、港北区近隣在住の外国人住民の小中学生
支 出 額　：　35,688 円

（ウ）　外国人支援に関する事業　（委託・自主事業）
区内在住外国人対象　日本語教室支援事業
（ア-1）日本語教室事業　（日本語教室）
内　　容　：在住外国人への日本語学習指導（学習者の子どもの保育含む）
学習者数　：平均 13 人/クラス、延べ 4,357 人、　42 ヶ国
ボランティア数：参加平均/週　124 人、延べ 4,714 人
学習日数　：340 日　（平均 38 日/クラス）
日　　時　：毎週（日・月・火・火夜・木・木夜・金・土・日吉）

場　　所　　：主たる事業所、日吉地区センター
従事者人員　　：153 人　　（＋窓口 1 人）
受益対象者　　：港北区他在住外国人
委託事業支出額：　1,131,644　円　　自主事業支出額　587,002 円
（企画運営共通費）　　教室運営収入額　533,800 円

注釈：（ア）日本語教室事業の人数、収入、支出の金額には　(5)ラウンジ運営や事業実施に於けるリモート化促進に関する事業の（ア-1）日本語教室事業リモート授業に記載した、人数、金額が含まれています。

（アー2）日本語専門講座事業　　（日本語教室）　　（自主事業）
内　　容：就学、就労目的での日本語学習者への研修実施
「日本語能力試験 N1,N2,N3 対策講座」開講
受講者　N1　19 人、N2　16 人，N3　12 人
日　　時：クラス、各 24 回、合計 144 回
場　　所：主たる事業所
従事者人員：4 人
対 象 者：港北区他在住外国人
自主事業支出額：　326,285 円
教室運営収入額：　360,000 円

（イ）外国人子どもの学習事業　　（ニューカマー）　　（委託事業）
内　　容　　：重点目標として
・漢字や計算など基礎学習の充実　　・高校受験対策強化
・ボランティア研修　　・学校や保護者との連携
・読書奨励
学習者人数　：　21　人
学習支援回数：　41　回
日　　時　　：毎週（土）
場　　所　　：主たる事業所
従事者人員　：　21　人
受益対象者　：港北区他在住外国人の子ども
支 出 額　　：128,819 円

(4)　地域近隣施設、合築施設との連携事業　　（委託事業）
（ア）広く区民対象の国際交流事業　（窓口）　　（委託事業）

（ア-1）ふれあいまつり

内　　容　：「港北区民まつり」への参加による国際交流。
「ふるさと港北ふれあいまつり」に出展し、「アフリカパズル」
「アフリカ民族衣装を着よう」「国旗クイズ」
「中国語・ベトナム語クイズ」などを実施。　参加　延べ 471 人

日　　時　：年 1 回 11 月

場　　所　：横浜アリーナ

従事者人員：　19 人

受益対象者：港北区民及び在住外国人

支 出 額　：34,338 円

（ア-2）ワクワクまつり　（大豆戸地域ケアプラザ共催）　（窓口）

内　　容　：年に一度の「ワクワクまつり」開催。
日本語学習者による日本語スピーチ・特技披露、伝統文化体験（甲冑試着体験）、中国・韓国・ベトナムのワークショップ等。
動画を作成しネットで公開（日本語学習者によるお国紹介、外国語スタッフによるミニ外国語講座、世界のファッションショー、など）
※感染防止のため会場が密になることを避け、リアル開催に加え動画配信も実施。

日　　時　：年 1 回、10 月 9 日（ 日 ）
※動画配信（YouTube）：10 月 9 日から 23 日まで（2 週間）

場　　所　：主たる事業所

従事者人員：　100 人

受益対象者：港北区民及び港北区他在住外国人

支 出 額　：　182,706 円

(5) ラウンジ運営や事業実施に於けるリモート化促進に関する事業　（委託･自主事業）

内　　容　：日本語教室、ブラッシュアップ講座、外国語教室、部会代表者会議、ボランティアミーティング、養成講座説明会、外国人子どもの学習、情報提供、リモートイベント、相談業務等でリモートで対応。機器設備拡充。

日　　時　：適宜実施

場　　所　：主たる事業所

受益対象者　：ボランティア、港北区他地域住民と在住外国人、その子ども

支 出 額　：295,668 円

収 入 額　　：300,000 円

＜下記内容項目内訳＞

（ア-1）日本語教室事業リモート授業　　（日本語教室）

内　　容　　：在住外国人への日本語学習指導

学習者数　　：延べ 484 人、　10 ヶ国

ボランティア数：延べ 397 人

日　　時　　：毎週（日・火・火夜・木夜・金・土）

場　　所　　：主たる事業所

従事者人員　：19 人　　（＋窓口 1 人）

受益対象者　：港北区他在住外国人

（ア-2）外国人子どもの学習事業　リモート授業（ニューカマー子どもの教室）

内　　容　　：漢字や計算など基礎学習の充実

学習者人数　：　1 人

学習支援回数：　3　回

日　　時　　：毎週（土）

場　　所　　：主たる事業所

従事者人員　：　1 人

受益対象者　：港北区他在住外国人の子ども

（ア-3）外国語教室　リモート授業（スペイン語初級）

内　　容　　：スペイン語初級の講座　※講師都合によるリモート授業

受講者人数　：　12 人

講座実施回数：　1 回

日　　時　　：9 月 27 日（火）

場　　所　　：主たる事業所

従事者人員　：　1 人

受益対象者　：港北区他

（アー8）相談業務のリモート　　（窓口）　（委託事業）

内　　容　　：市民通訳ボランティアによる通訳

小学校、中学校などからの通訳依頼に ZOOM を利用して対応

(6)　新型コロナウイルス感染症対策に関する事業　（窓口）（委託事業）

（アー1）

内　　容　：「消毒液、アルコール除菌シート、薬用石鹸　等」
日　　時　：　適宜
場　　所　：主たる事業所
受益対象者：港北区民及び在住外国人
支　出　額：　339,257　円
収　入　額：310,000 円

（アー2）　　（情報広報）
内　　容　：「ウィルス蔓延防止策、感染予防策」に関する情報を在住外国人向けに広報誌を通じて発信する。項番（１）（ウ）に含む